



第 1771 回例会

平成 26 年 1 月 6 日(月)

18:30~ ロイヤルパインズホテル
新春夫婦例会

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介
米山記念奨学生
アーマド・シャキル・ビン・アズミ 君
5. 出席報告
会員総数 51 名 出席者数 42 名
出席率 84.00% 前回修正出席率 74.51%

6. 会長スピーチ



し上げますと共に、平素は当海南東ロータリークラブの活動に、ご尽力賜り、誠に有り難うございます。

さて、昨年は、当クラブ会員でありました田村先生が、不慮の病気でお亡くなりになられた事、さらに、元会員の上南さんも亡くなられた事は、悲しみに耐えられません。会員の皆様に置かれましては、自分の健康管理に努めていただき、ロータリーの精神の下、社会貢献に努めて頂きます様、よろしく御願いいたします。

さて、アベノミクス効果により、都市部においては、景気回復の兆しが見られるといわれているものの、我が市、町においては少子、高齢化や過疎化の中で、依然として深刻な、雇用情勢であ



り、市・町民から多方面にわたる行政需要が増加し、財政状況は引き続き厳しい状況であり、今後の景気回復に期待するところであります。しかしながら、今年の4月から消費税率8パーセントへの引き上げ等により、日本経済の後は、先が見えにくいのが現状でありますが、今年の干支は午。午は物事の転換期を示し、また、飛躍する年といわれていますので、今年こそ長く続いた不景気から脱却し、景気回復に期待したいところであります。

そして、会年こそ、第 2640 地区が正常化に向けることに期待し、海南東ロータリーカラーラブの会員の皆様、また、奥様、旦那様の今年一年のご健康、ご多幸を祈念して、私の念頭の挨拶にさせていただきます。

7. 幹事報告 幹事 大谷 徹 君

- 例会臨時変更のお知らせ
粉河 RC 1月 8 日(水)→ 1月 8 日(水)
VILLA AMANOSATO (山荘 天の里) 新年例会
- 海南 RC 1月 8 日(水)→ 1月 8 日(水)
18:00~ 美登利 新年例会
- 有田 RC 1月 9 日(木)→ 1月 9 日(木)
18:15~ 橘家 新年例会
- 和歌山西 RC 1月 15 日(水)→ 1月 16 日(木)
18:00~ 「あたらし屋」夜間例会
(新年宴会・家族会)

○1月ロータリーレート

1 \$ = 102 円

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1772 回例会 平成 26 年 1 月 20 日(月)
海南商工会議所 4F 12:30~
ゲスト卓話 県立図書館文化情報センター長
谷口 義彦 様



- 四つのテスト 言行はこれにてらしてから
 ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
 ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266
会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 SAA：重光 孝義

2014年新春夫婦例会



上野山 親睦活動委員長



山畠 副会長

アトラクション 劇場すわん江戸村の演舞



みんなで「手に手 つないで」



1月はロータリー理解推進月間です



家族をロータリーに迎えいれる

R I 会長 ロン D. バートン 氏

親愛なるロータリアンの皆さん、私たちはロータリーについて、その部門とさまざまな世代を合わせて拡大家族として話すことがよくあります。私たちは青少年プログラムの参加者や学友をロータリーファミリーの一員として評価し、また、子どもや家族に対する奉仕に、特に力を入れています。いかなる家族にとっても、若い世代が未来であることを知っているからです。若い世代をロータリーの会員として迎え入れることが、私たちにとって必要なことです。これまでに多くの時間をかけて、どのようにしたら若い職業人をロータリーに引き付けることができるかを話し合ってきました。しかし、どうしてロータリーに留まらないかについては、恐らく十分に論じてこなかったのではないかでしょう。



小さい子どもを持つ会員に配慮する

ロータリーに入会した大勢の若い人たちの中には、青少年プログラムの経験者もいます。しかし、彼らが自分たちの家庭を築き始めると、その多くは去っていきます。その理由は想像に難いものではありません。それらの人たちは、家族よりロータリーに時間を取りれている若い職業人です。彼らがどんなにロータリーを好きだとしても、配偶者や子どもよりもロータリーの奉仕を優先することはないでしょう。私たちもまた、彼らにそれを求めるべきではありません。家族を迎える方法を見いだすことが重要です。家族はロータリアンの時間を奪い合うものではありません。家族全員を巻き込む奉仕プロジェクトの計画を立てたり、例会中、子どもを預かったり、例会の時間や場所に柔軟性をもたらせたりするなどして、ロータリーの奉仕を実行可能な選択肢の一つにする必要があります。

家族のカレンダーにロータリー

家族は、ロータリーの予定から除外されるものではありません。家族を家に置いてお母さんやお父さんがロータリーに出かけるのではなく、家族のカレンダーにロータリーが書き込まれるので、ロータリーの家族は現実のものです。これらの子どもたちは自分の親が社会奉仕にかかわっている姿を見ながら成長し、自分たちも関わっていくようになるでしょう。それは家族にとって素晴らしいだけでなく、活動的で奉仕の心を持つ新しい世代の若い会員を育てるにつながり、ロータリークラブにとっても素晴らしいことです。人生やキャリアのどの段階にあっても、ロータリーには、より多くのことをさせる手段。私たちがもっと多くを与えるのを可能にする手段、そして私たちの存在感がもっと増す手段など、私たち一人ひとりのための何かを持っています。ロータリーは私たちみんなにとってとても大きな存在です。